



THE COMMISSION FOR THE SOLIDARITY WITH THE ASIAN UNDERPRIVILEGED
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館 14階 Tel. 03-3769-4177 Fax. 03-3769-4178 E-mail: info@ngo-csa.jp HP: www.ngo-csa.jp

レポート アジア連帯委員会

第65号

2026年1月

2026年アジア連帯委員会（CSA）年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、アジア連帯委員会（以下、CSA）の活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。とりわけ、長年にわたり物心両面でご支援いただいております連合、支援者団体、個人支援者の皆様には、深く感謝申し上げます。



会長 坂本 彰

昨年も世界各地で、紛争や気候変動に伴う自然災害、飢餓、貧困など多くの課題が山積した1年となりました。私たち国際NGO団体の役割は、このような課題に直面する人々に寄り添い、その幸せを追求することであり、継続した取り組みが求められます。

CSAは、設立の経緯や事務局体制、財政状況等から、限られた地域・国での活動となっていますが、皆様のご理解のもと、貴重な浄財を有効に活用しながら、支援する地域・国への貢献に努めています。一方、財政面では、金融市場等の影響による円安傾向から、国際支援にとって厳しい状況が続き、活動の維持のために支援の輪を広げていくことが課題となっています。

このような状況をふまえ、昨年9月25日に開催した第45回定期総会で確認された事業計画にもとづき、活動を進めています。事業計画の基本的な視点は、インドシナ半島諸国（特にラオス）への支援活動を主軸に、その国の発展に寄与する教育環境の整備・充実をはかること、SDGsも意識しながら効果的に事業を展開していくこととしています。

具体的には、以下のとおり、ラオスを中心に「救援物資事業」「小学校建設・補修事業」「教育支援事業」に注力しています。なお、これら事業の視察・点検・情報収集等を目的として、1月下旬に総勢11名でワーキング・スタディ・ツアーを実施する予定です。

1. 救援物資事業

36年間継続してきた「救援衣類を送る運動」に代わる取り組みとして、一昨年より現地に必要な物資の寄贈を行っています。今後も、ワーキング・スタディ・ツアーなどの現地訪問時に、CSAが建設したラオスの小学校に対し、ハンドソープと水筒を寄贈していきます。

また、現地コーディネーター等と連携してニーズの把握を行い、事業の充実に向けて検討を進めます。

2. 小学校建設・補修事業

ラオスで義務教育を受けられない子供がいる状況を改善するため、1995年以降、26の学校を寄贈し、補修事業も進めています。

直近では、2024年11月に寄贈したCSA第26番目校ハッパン村小学校を訪問し、1年点検を実施しました。また、昨年5月に訪問して修繕箇所を確認した13番目校コアティヌン村小学校について、補修を実施する予定です。

その他の学校も老朽化が進んでいますが、現地からの要望を確認し、優先順位をつけ、対応していきます。

3. 教育支援事業

2002年に、ラオスで屈指の優秀校であるルアンプラバン県サンティパーブ高校に寮を建設・寄贈し、貧困により進学を断念せざるを得ない学生への学業と生活の支援を続けています。卒業生のほぼ全員が進学し、一部は国費留学生として日本で学ぶなど、将来の国を担うリーダーとして活躍しています。

今後も、この支援を継続するとともに、ラオス関係省庁や学校関係者に対し、寮の自主的運営を働きかけるなど、新たな教育支援を検討していきます。

これら3つの事業を中心に取り組んでいきますが、活動を支える財源は、連合愛のカンパや会員皆様からのカンパに支えられています。今後も、連合および支援団体、個人支援者との連携を深めるとともに、繰り返しになりますが、支援の輪を広げて事業の維持・発展に努めていかなければなりません。

また、昨年、日本とラオスは国交樹立70周年を迎えました。CSAは、1981年の発足以来40年以上にわたり、ラオスの人々の幸せを願って支援活動を続けてきました。今後も両国の友好関係の一助となるべく努力してまいります。

そのためにも、活動の周知に注力するとともに、必要に応じて事業の見直しを行い、より効果的な事業展開をめざしていきます。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、そして世界のすべての人々の幸せを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

アジア連帯委員会（CSA）会長 坂本 彰

2025年9月から2026年9月の活動計画について (第45回定期総会報告・議案書より)

事務局長 砂長 勉

1. 救援物資事業について

(1) 物資の選定

CSAラオスコディネーターや国際労働財団(JILAF)、難民を助ける会(AAR)等と連携し、現地で必要な物資を選定し、C

SAが寄贈した小学校や貧困な地域へ寄贈していきます。

当面は、ハンドソープと水筒(低学年を中心に)を寄贈していきます。



ハンドソープと水筒を寄贈



水筒を受け取った子供たち

2. 小学校建設・補修事業について

(1) 第26番目校の建設後1年点検

団体会員であるU Aゼンセンの支援に基づき、C S A第26番目校を2024年11月に建設・寄贈・引き渡しが完了しました。現在は、250名近い児童が建設された学校で勉強をしています。

2025年11月に引き渡し後の1年点検を寄贈したU Aゼンセンと現地へ赴き、修繕必要箇所の確認を行い引き続き支援をしていきます。

(2) 既存校の補修

建設された26校の小学校の多くは老朽化によって補修が必要な状況となっています。優先順位と必要性を確認した上で補修を行います。

(3) 小学校寄贈団体会員（産別・単組）との連携強化

C S Aがラオスに手掛けた26の小学校のうち8校は支援組織の寄贈校です。継続的に支援団体会員へ補修の提案や協力要請を適時行います。



1年点検で修繕箇所の確認

3. 教育支援事業について

(1) 2025年度のサンティパープ高校生寮支援予定額

サンティパープ高校生寮支援金額は、年間総額約\$ 37,550（¥6,008,000：為替レート@¥150/\$で計算）。寮生一人当たり年間約\$ 417.2（¥66,752）。

食費（\$32.5×90名×10ヶ月）、人件費（寮を運営している先生）、学用品・寝具・食品・医療費、帰省旅費、卒寮関係費を含んでいます。

(2) 寮の運営に関する支援

- ① サンティパープ高校の校長先生や寮監と訪問時に意見交換を行い、寮運営支援を継続します。

- ② C S Aラオスコーディネーター（当校第1期卒寮生）と随時情報共有し、現状把握に努めます。

- (3) 寮運営継続支援と自主運営への取り組み
寮の運営支援を継続する一方で、ラオスの関係省庁や学校関係者等と話し合いをし、段階的・計画的に自主的運営を進めます。

- (4) 寮の老朽化による補修工事の取り組み
2002年の建設から23年が経過し、都度老朽化に対応した工事を実施しています。今後も必要に応じて対策と補修工事の実施を進めていきます。



サンティパープ高校生寮訪問



成績優秀寮生を表彰

4. 募金活動について

事業の継続と充実に向けて、それぞれの事業ごとに下記の募金活動を行います。

(1) 救援物資募金

保健面、衛生面等で必要な物資の調達に使用します。当面は、ハンドソープ、水筒を救援物資としますが、詳細については、現地コーディネーターと連携して対応します。

(2) 小学校建設・補修募金

小学校建設、既存校舎の補修整備に使用します。

(3) 教育支援募金

サンティパーブ高校生寮の運営・支援と小学校への教育機材の調達に使用します。

(4) その他の募金

取り組む事業に応じて別途募金活動を行い、その事業の支援に使用します。

5. 2026年ワーキング・スタディ・ツアーの実施について

事業活動の点検、訪問先の人々との交流を通して相互理解を深め、友好親善の輪を広げることを目的にワーキング・スタディ・ツアー（W S T）を実施します。

2026年1月に実施を予定し、ラオス・タイ両国日本国大使館や連携N G Oを公式訪問、また建設した小学校へ救援物資を届け、児童との交流を図ります。

実施時期：2026年1月24日（土）～31日（土）

訪問先：ラオス/教育・スポーツ本省、県教育・スポーツ局、C S A 寄贈小学校、サンティパーブ高校寮、A A R、在ラオス日本国大使館
タイ/J I L A F バンコク事務所、在タイ日本国大使館

参加者：8組織11名



2025W S T 県スポーツ教育局訪問



2025W S T 寄贈小学校訪問



2025W S T 在ラオス日本国大使館

6. C S Aの活動強化に向けて

(1) 団体会員や個人会員の拡大

- ①団体会員や個人会員の着実な増加を目指し、既存会員と連携した行動を積極的に行います。
- ②団体会員の労働組合や団体本部、本社事務所を訪問し、C S Aの活動報告や意見交換を計画的に実施します。
- ③団体会員の機関会議や各種会議で「アジア連帯委員会の活動」の説明機会を増やし、C S A諸事業について理解を広める取り組みを行います。

(2) 広報・宣伝活動の強化

- ①ホームページ、SNSの充実と周知
- ②「C S Aレポート」の作成
- ③リーフレットの活用

(3) 団体会員への積極的事業報告・情報共有活動

C S A事業の説明や情報共有を目的とし、事務局は団体会員の諸会議等に機動的・積極的に対応します。

(4) 連合との連帯強化

- ①連合メーデー中央大会への出展
- ②連合「愛のカンパ」
- ③連合構成組織への対応

(5) 日本定住者団体等との交流

(6) 外務省、国際労働財団、NGO・NPO団体等との情報交換・連帯強化

(7) 駐日・在ラオス、駐日・在タイ大使館との連携構築との支援の拡大

以上

本年もよろしくお願い致します 役員一同

会 長	坂 本 彰	アジア連帯委員会
副 会 長	内 藤 靖 博	連合 副事務局長
副 会 長	山 崎 高 明	アジア連帯委員会
事 務 局 長	砂 長 勉	アジア連帯委員会
常 任 理 事	杉 山 寿 英	連合 連帯活動局長
〃	田 中 智	U Aゼンセン 運動推進局長
〃	八 巻 由 美	自治労 総合企画総務局長
〃	秋 元 成	電機連合 事務局次長
〃	丸 山 さつき	J A M 組織グループ グループ長
〃	伏 見 隆太郎	基幹労連 事務局次長
〃	寺 澤 環	日教組 国際部長
〃	青 木 哲 彦	情報労連 運動推進局長
〃	服 部 和 也	連合東京 副事務局長
監 事 (会計監査)	斗 内 利 夫	U Aゼンセン 副書記長
〃	西 谷 涼 子	自動車総連 国際局局长

2026年主要事業・会議

1月24日～31日 ワーキング・スタディ・ツアー
 3月25日 第59回常任理事会、第29回評議員会
 4月29日 連合第97回中央メーデー大会出展
 8月26日 第60回常任理事会
 9月30日 第61回常任理事会、第46回定期総会

募金者名・募金額の報告

期間：2024年12月1日～2025年11月30日

(順不同)

《救援物資募金》

〈団体名〉

I H I 労 連 様	三菱自動車工業労組 様	J A M 北 関 東 様
J A M 様	I H I 労 連 堺 支 部 様	日 産 労 組 横 浜 支 部 様
全 国 ガ ス 労 連 様	日 産 労 連 様	日 産 労 組 本 社 支 部 様
TOPPANグループ労連 様	ニテックハ°ワートレインシステムズ°労組 様	ヒ°ークルエナシ°ーシ°ャル°ン労組 様
ユ ニ プ レ ス 労 組 様		

団体合計 **¥982,342**

〈個人名〉

河 瀬 義 則 様	北 野 眞 一 様	銅 雅 子 様	鈴 木 隆 様
中 澤 信 之 様	杉 山 寿 英 様	坂 本 彰 様	山 崎 高 明 様
砂 長 勉 様			

個人合計 **¥53,000**

救援物資募金 合計 **¥1,035,342**

《小学校建設・補修募金》

〈団体名〉

U A ゼ ン セ ン 様	三菱自動車工業労組 様	シンフォニアテクノロジーグループ°ユニオン 様
J A M 様	J P 労 組 東 京 様	日 産 労 組 横 浜 支 部 様
基 幹 労 連 様	キャタピラー°日本労組 様	日 産 労 組 本 社 支 部 様
サンデン交通労組 様	岡山県貨物運送労組 様	ヒ°ークルエナシ°ーシ°ャル°ン労組 様
三 八 五 労 組 様	ユ ニ プ レ ス 労 組 様	ニテックハ°ワートレインシステムズ°労組 様

団体合計 **¥7,717,917**

〈個人名〉

土 屋 菜 穂 子 様	北 野 眞 一 様	鈴 木 隆 様	村 山 義 光 様
田 口 敬 子 様	中 澤 信 之 様	河 瀬 義 則 様	横 田 泰 武 様
山 岡 み ゆ き 様	萬 家 重 明 様	銅 雅 子 様	永 井 義 義 様
杉 山 寿 英 様	坂 本 彰 様	山 崎 高 明 様	砂 長 勉 様

個人合計 **¥87,000**

小学校建設・補修募金 合計 **¥7,804,917**

《教育支援募金》

〈団体名〉

U A ゼ ン セ ン 様
J A M 様
日産労組 横浜支部 様
日産労組 本社支部 様

基 幹 労 連 様
印 刷 労 連 様
ユニプレス労組 様

住 友 重 機 械 労 連 様
ビークルエナジー・ジャパン労組 様
デックパワートレインシステムズ労組 様

団体合計 ￥845,796

〈個人名〉

相 馬 未 一 様
北 野 眞 一 様
鈴 木 隆 様
杉 山 寿 英 様

田 口 敬 子 様
萬 家 重 明 様
佐 藤 正 行 様
坂 本 彰 様

中 澤 信 之 様
熊 谷 由 美 子 様
有 村 利 範 様
山 崎 高 明 様

土 屋 菜 穂 子 様
有 村 利 範 様
銅 砂 雅 子 様
長 勉 様

個人合計 ￥147,853

教育支援募金 合計 ￥993,649

募金総合計 ￥9,833,908

ホームページとSNS紹介



HP



X(旧 Twitter)



Facebook

リニューアルしたホームページと昨年より新設したFacebookとX（旧Twitter）にアクセス・友だち登録をお願いします。『心もSNSもCSAとつながりませんか』

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2024年12月1日 ～ 2025年11月30日

(順不同)

〈団体名〉

連合労働組合	アルペン労働組合	U A ゼンセン
U A ゼンセン	カネボウ労働組合連合会	U A ゼンセン
自治機連	キャタピラー日本労組	U A ゼンセン
電機連	ソラストユニオン	U A ゼンセン
J A M 様	フード連合	U A ゼンセン
基幹労働組合	ポケットカードユニオン	U A ゼンセン
日報教	アートホテル日暮里ラングウッド	U A ゼンセン
情報労働組合	モンテローザ労組	U A ゼンセン
連合東京	ルックユニオン	U A ゼンセン
I H I 労働組合	自動車総連	U A ゼンセン
印刷労働組合	(公財)総評会館	(一社)全国労働金庫協会
A N A 労働組合	(株)友愛会館	(公財)富士社会教育センター
基金労働組合	J P 労働組合	SMBCコンシューマーファイナンス労組
航空連合	(株)コンポーズ・ユニ	こくみん共済coop<全労済>
交通労働組合	国税労組総連合	シンフォニアテクノロジーグループユニ
J R 労働組合	三井E & S 労働組合	セントラル硝子労働組合
J P 労働組合	住友重機械労働組合	共済ユニオン東京千葉
日産労働組合	全国ガス労働組合	三菱自動車工業労働組合
連合茨城	全日本海員組合	三菱重工労働組合
森林労働組合	TOPPANグループ労働組合	中央発送株式会社
生保労働組合	(一財)日本労働会館	日本インタープライス・メンテナンス(株)
損保労働組合	連合神奈川	明治安田生命保険相互会
電力総連	東亜道路労働組合	有限会社勤労者旅行会
(株) N e t y	東京交通労働組合	連合近畿地方ブロック協議会
専門店ユニオン連合会		ニチイグループ労働組合

団体合計 **¥2,900,000**

〈個人名〉

大磯扶三彦様	堀江渥子様	村山義光様	河瀬義則様
菅原正志様	岡みゆき様	横田泰文様	吉野雅彦様
萬家重明様	北野眞一様	佐藤正行様	相馬末一様
筒井克己様	田口敬子様	水野清弘様	熊谷由美子様
間宮悠紀様	中島徹様	根岸梅太郎様	中澤信美様
矢鳴浩一様	有村利範様	助晴彦様	福田美秋様
西澤治郎様	土屋菜穂様	寺嶋雪乃様	砂長めぐみ様
銅山雅子様	黒澤浩枝様	保野勝敏様	小林孝徳様
浅川哲也様	奈良靖様	森真昭様	藤田鉄平様
下川まゆみ様	西村正信様	松浦昭彦様	鈴木真隆様
雪丸貴宏様	岩附宏幸様	石谷恵様	黒川真一様
永井武義様	杉山寿英様	砂川文朗様	吉住正男様
坂本彰様	山崎高明様		

個人合計 **¥198,000**

会費合計 **¥3,098,000**

募金・会費総合計

¥12,931,908



NGO団体

アジア連帯委員会(C S A)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階

TEL. 03 (3769) 4177 FAX. 03 (3769) 4178

E-メール info@ngo-csa.jp HP www.ngo-csa.jp